

# 集中実績収集ツール (一括入力版)

操作説明書

Ver. 2.0

このマニュアルで説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。

#### 著作権

Copyright (c) 2010-2014 AP-REFINE Inc. All Rights Reserved.

このマニュアルの一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

#### 商標

MicrosoftおよびWindowsは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

## はじめに

この度は当社ソフト『集中実績収集ツール（一括入力） Ver. 2. 0』（以下「集中実績収集ツール」と表記）を採用頂きましてありがとうございます。

集中実績収集ツールは、APシリーズ周辺機器読取装置にて読み取った帳票のシンボルデータをファイルに出力します。データはツールで設定した形式で出力することができます。

集中実績収集ツールをご使用いただく前にインストール時に表示されますソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

製品の仕様は、将来予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気付きの点がありましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。

2014年4月

## <目次>

	ページ
はじめに .....	1
目次 .....	2
1. 機能概要 .....	3
(1) 主な機能 .....	3
(2) 対応機器 .....	3
(3) ハードウェア構成 .....	3
2. インストール・アンインストール方法 .....	4
(1) インストールの手順 .....	4
(2) アンインストールの手順 .....	4
(3) ツールの再インストール .....	4
3. 動作環境の設定 .....	5
(1) 設定ファイル .....	5
(2) 設定の変更方法 .....	5
4. 起動方法・画面操作 .....	12
(1) 起動方法 .....	12
(2) トップ画面の操作方法 .....	12
(3) 読取モニター画面の操作方法 .....	13
(4) 読取データ画面の操作方法 .....	15
(5) 機器情報画面の操作方法 .....	17
(6) エラー時の操作方法 .....	18
(7) 履歴一覧画面の操作方法 .....	19

## 1. 機能概要

集中実績収集ツールは手差しリーダー、ホッパーリーダー、e-ポスト、ハンディスキヤナの制御を行い、機器が読み取ったシンボルの内容をファイルに出力します。手入力によるデータ登録も可能です。読み取り時は読み取り件数、リジェクト件数をリアルタイムに画面に表示し、機器でエラーが発生した場合は、エラー画面にエラーの内容を表示します。

### (1) 主な機能

#### ◆読み取り

- ・手差しリーダー、ホッパーリーダー、e-ポストでの読み取り制御
- ・ハンディスキヤナでの読み取り制御
- ・読み取りデータをファイルに出力
- ・項目を指定してファイルに出力
- ・証拠印字のサポート

#### ◆読取装置のステータスチェック

- ・エラーの監視
- ・稼働状況を監視

### (2) 対応機器

#### ◆手差しリーダー

AP-1400シリーズ (AP-1401, AP-1404, AP-1409)  
AP-1729

#### ◆ホッパーリーダー

AP-2000シリーズ (AP-2001, AP-2004, AP-2009)  
AP-2200シリーズ (AP-2221, AP-2224, AP-2229)  
AP-2300シリーズ (AP-2321, AP-2324, AP-2326, AP-2329)  
AP-2500シリーズ (AP-2521, AP-2524, AP-2529)  
AP-2600シリーズ (AP-2619, AP-261H)  
AP-301H  
AP-3115  
AP-311H

#### ◆e-ポスト

AP-9700シリーズ (AP-9714, AP-970A)  
AP-9800シリーズ (AP-9814, AP-9819)

#### ◆ハンディスキヤナ

AP-110J、AP-110K  
AP-0811

※対応機種は2009年9月時点のものとなります。

新製品のリリースにより、対応機種を変更する場合があります。

### (3) ハードウェア構成

#### 推奨環境

OS : Windows 7 Service Pack 1  
Windows XP Embedded with Service Pack 2  
Windows XP Service Pack 2  
Windows2000

CPU : 最低500MHz以上のCPU

メモリ : 最低256MB以上 512MB以上のメモリを推奨

ハードディスク空容量 : 6MB以上  
(データファイル、履歴ファイルの容量は含みません。)  
※.NET Frameworkは含みません。

## 2. インストール・アンインストール方法

本ツールをパソコンで使用できる状態にするには、インストールプログラムでパソコンに動作環境を作成する必要があります。  
プログラムをパソコンから削除する場合は、アンインストールすることでインストール時に作成されたファイルを全て削除します。

### (1) インストールの手順

以下の手順でパソコンに本ツールに必要なファイル、動作環境を作成します。

1. パソコンを起動後に本ツールのCD-ROMをドライブに挿入して下さい。
2. エクスプローラーでインストールCDを開き、setup.exeを実行して下さい。

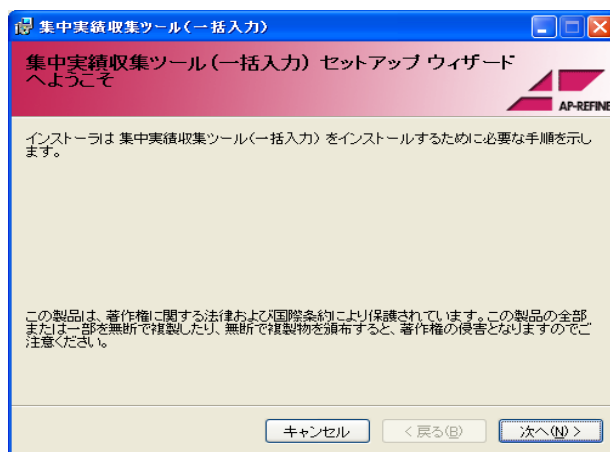


図2-1. セットアップ画面

3. セットアップ画面の手順に従って操作を行って下さい。  
操作：ディスク領域の確認  
インストール対象とするパソコンのユーザーを選択

### (2) アンインストールの手順

パソコンから本ツールを削除する場合は以下の手順で行って下さい。

1. コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を起動します。
2. 一覧から「集中実績収集ツール（一括入力）」を選択して下さい。
3. 「削除ボタン」を押下してアンインストールして下さい。

### (3) ツールの再インストール

何らかの原因によりツールを再度インストールする場合は、以下の手順で行って下さい。

1. アンインストール（(2)の手順）を行う。
2. インストール（(1)の手順）を行う。

### 3. 動作環境の設定

本ツールは、設定ファイルの各項目でツールの動作環境を設定します。

#### (1) 設定ファイル

以下の設定ファイルで各設定項目を読み込みます。

- ・通信/読取設定 (ApTools.config)

#### (2) 設定の変更方法

以下の手順で設定ファイルの内容を変更します。

設定を変更した場合はツールを再起動して下さい、変更内容は次回から有効になります。

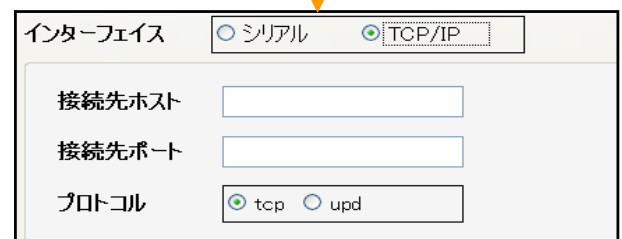
1. スタートメニューのすべてのプログラムから「TOTAL」→「集中実績収集ツール（一括入力）」→「環境設定」を選択して下さい。設定画面が表示します。（図3-1.）参照。
2. 「機器設定」・「読取設定」・「画面設定」の3つの設定を行います。

##### ①機器設定

使用するリーダ機器を選択して、機器との通信設定をします。



図3-1. 集中実績収集ツール 環境設定画面（機器設定ページ）



TCP/IP選択時

[設定内容]

設定項目		設定内容
種類		対象の読取装置種類を選択して下さい。 該当する機種画像が一覧に表示します。 ・手差しリーダー ・ホッパーリーダー ・e-ポスト ・ハンディスキャナ
機種一覧		接続する読取装置の画像を選択して下さい。
名称		任意の名称・目的などを入力して下さい。 集中実績収集ツールのトップ画面に使用機種名称として表示します。
設定機種		設定した機種名称を表示します。
インターフェイス		読取装置との通信方法を選択して下さい。 ・シリアル      ・TCP/IP
シ リ ア ル	ポート	読取装置を接続しているポートを選択して下さい。
	通信速度	
	データビット	
	パリティ	
	ストップビット	
フロー制御	読取装置の通信設定に合わせて下さい。	
T C P / I P	接続先アドレス	読取装置のIPアドレスを入力して下さい。
	接続先ポート	読取装置のポート番号を入力して下さい。
	プロトコル	TCP/IPのトランスポート層を選択して下さい。 ・tcp      ・upd

※本ツールはOSのシリアル通信設定ではなく、ツール固有の設定により通信を行います。



## ② 読取設定

読取装置で読み取るメディアの設定をします。

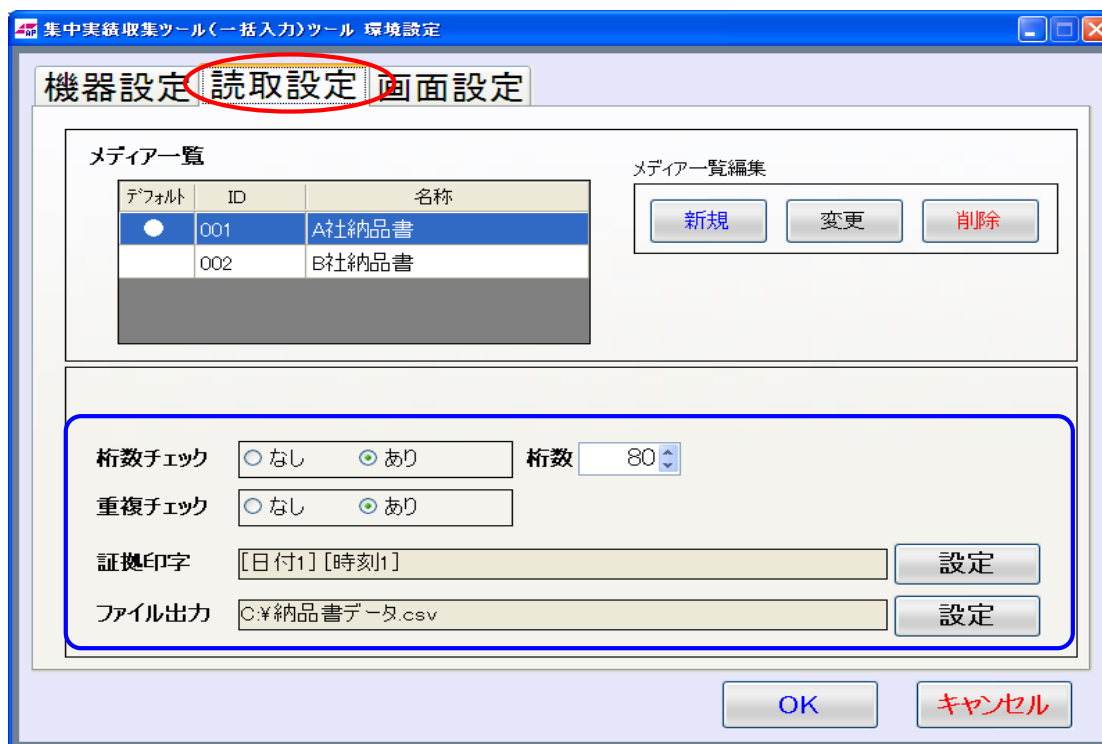


図3-2. 集中実績収集ツール 環境設定画面（読取設定ページ）

### [設定内容]

設定項目	設定内容
メディア一覧	設定した読み取りメディアの一覧を表示します。 行で選択したメディアの詳細情報を下段(青枠)に表示します。 メディアの登録・変更・削除は下記のボタンで行います。
新規	ボタン押下で、メディア設定画面(図3-3.)を表示。 入力後、「OKボタン」押下で一覧の最終行に追加します。
変更	対象のメディアを選択し、ボタン押下でメディア設定画面を表示。 変更後、「OKボタン」押下で一覧へ内容を反映します。
削除	対象のメディアを選択し、ボタン押下で一覧から削除します。
桁数チェック	読み取ったメディアのシンボル全体桁数が設定値と異なる場合エラーとしてリジェクトする場合は「あり」を選択して下さい。
桁数	シンボル全体の桁数。
重複チェック	重複読み取りのメディアをリジェクトする場合は「あり」を選択して下さい。
証拠印字	証拠印字の内容を表示します。変更する場合は、「設定ボタン」を押して下さい。
ファイル出力	ファイルの出力先、ファイル名称を表示します。出力方法を設定する場合は、「設定ボタン」を押して下さい。

### ③メディア設定

図3-3. メディア設定画面

#### [設定内容]

設定項目	設定内容
ID	任意のIDを入力して下さい。 ※重複したIDは登録できません。
名称	メディアの名称を入力して下さい。
デフォルト指定	ツール起動時に選択状態とするメディアをチェックして下さい。複数の選択はできません。

### ④証拠印字設定

図3-4. 証拠印字設定画面

#### [設定内容]

設定項目	設定内容	
証拠印字文字	設定した証拠印字の内容を表示。 編集は各種ボタン(連番～全消去)を押下して下さい。	
編集ボタン	連番	連番を印字。"00001"から始まる5桁で連番を印字します。
	日付・時刻	読み取った日付・時刻を印字。 書式をボタンで選択して下さい。
	任意文字	入力した任意の文字を印字。 入力後に「OKボタン」を押下して下さい。
	スペース	設定に半角スペースを挿入します。
	消去	証拠印字文字を全消去します。

#### [サンプル]

証拠印字文字	[連番] [日付1] [時刻3] 正常読取 ↑ ↑ ↑ スペース
実際の印字イメージ	00015 2009/04/01 10:39 正常読取

⑤ファイル出力設定

図3-5. ファイル出力設定画面

[設定内容]

設定項目	設定内容
分割出力	ファイルに出力する項目を設定します。 読み取りデータから個々の分割項目を定義する場合は、分割出力で「する」を選択して下さい。 分割項目の設定は下記のボタンで個別に設定します。
新規	ボタン押下で、分割出力設定画面(図3-6.)を表示。 入力後、「OKボタン」押下で一覧の最終行に追加します。
変更	対象の項目を選択し、ボタン押下で分割出力設定画面を表示します。 変更後、「OKボタン」押下で一覧へ内容を反映します。
削除	対象の項目を選択し、ボタン押下で一覧から削除します。
項目名出力	出力するファイルの1行目に項目名称を出力する場合は、「する」を選択して下さい。
区切り文字	出力するファイルの形式を区切り文字で選択して下さい。 【区切り文字無し・Tab区切り】 ファイル拡張子「.txt」で出力します。 【カンマ区切り】 ファイル拡張子「.csv」で出力します。
出力ファイルパス	ファイルの出力先、ファイル名称を指定します。
出力方式	ファイルの出力方式を選択します。 【追加】 選択したファイルにデータを追加して保存します。 【上書き】 出力先に同名のファイルがあれば上書きして保存します。 同名のファイルが無い場合は、新規で作成します。

⑥分割出力項目設定

ファイルへ出力する項目の定義を設定します。

図3-6. 分割出力項目設定画面 (メディア選択時)

「実績」選択

[設定内容]

設定項目	設定内容	
データ	データ元を選択して下さい。 ・メディア ・実績	
メディア	名称	任意の項目名称を入力して下さい。
	開始位置	項目の開始位置を入力して下さい。
	バイト数	開始位置からのバイトを入力して下さい。 全角文字は2バイトです。
実績	種類	次の3種類から選択して下さい。 「連番」：証拠印字した連番と同じ番号を出力。 「任意」：任意の文字列を出力。 「日時」：読取時刻（手入力データ登録時刻）を出力。
	名称	任意の項目名称を入力して下さい。
	内容	「任意」選択時のみ、出力文字列を入力して下さい。
	バイト数	バイト数を入力して下さい。 ただし「日時」選択時は'19'固定になります。

### ⑦画面設定

集中実績収集ツール画面の表示設定

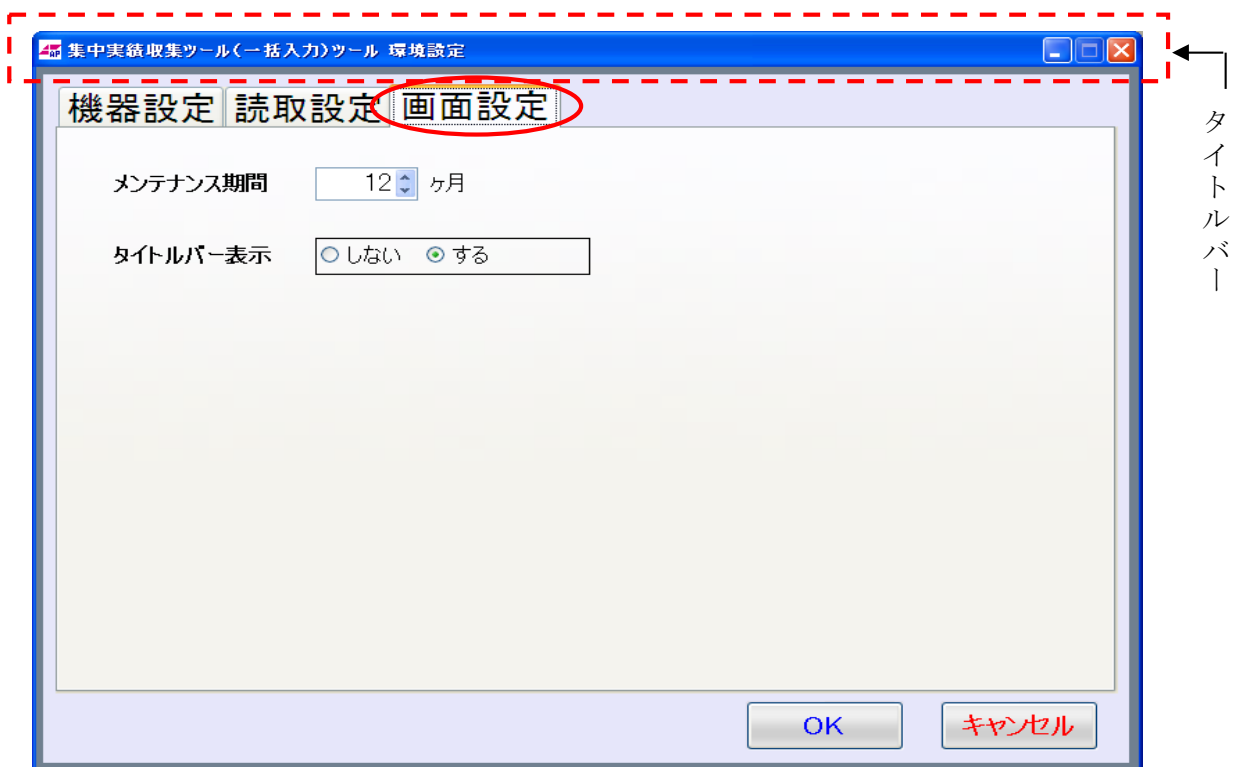


図3-7. 集中実績収集ツール 環境設定画面（画面設定ページ）

[設定内容]

設定項目	設定内容
メンテナンス期間	機器のメンテナンス時期を通知するための期間を入力して下さい。
タイトルバー表示	「する」を選択した場合は、本ツールの画面にタイトルバー、マウスカーソルを表示します。

#### 3. 設定内容の確定

画面下の「OKボタン」で設定内容のチェックを行います。設定内容が正しければ設定ファイルに内容を登録します。登録が正常に終了したら本画面を閉じます。

#### 4. 設定のキャンセル

画面下の「キャンセルボタン」で設定ファイルの登録は行わず、本画面を閉じます。

## 4. 起動方法・画面操作

### (1) 起動方法

本ツールを起動する方法は以下の手順にて行って下さい。

- ◆デスクトップのショートカット(図4-1.)をダブルクリックして起動します。



図4-1. ショートカット

- ◆スタートメニューのすべてのプログラムから「TOTAL」→「集中実績収集ツール(一括入力)」→「集中実績収集ツール(一括入力) Ver. 1.0」を選択して起動して下さい。

本ツールを起動すると、トップ画面(図4-2.)を表示します。  
後述の操作方法に従って、操作を行って下さい。

### (2) トップ画面の操作方法

[画面イメージ]

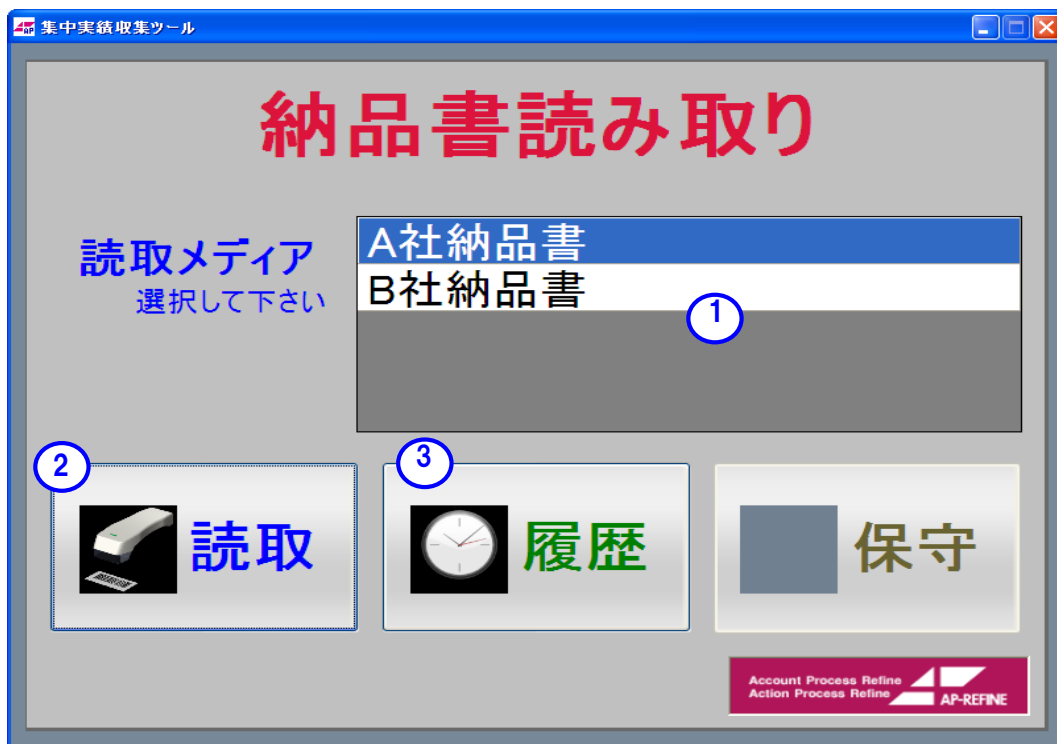


図4-2. トップ画面

[機能]

- ・読み取りメディア一覧の表示
- ・読取モニター画面へ遷移
- ・履歴一覧画面へ遷移

[操作方法]

- ①読取メディア一覧  
読み取りの対象となるメディアを選択して下さい。
- ②読取モニター画面へ遷移  
読取メディア一覧で選択したメディアを対象として読取モニター画面へ遷移します。
- ③履歴一覧画面へ遷移  
履歴一覧画面へ遷移します。

### (3) 読取モニター画面の操作方法

[画面イメージ]



図4-3. 読取モニター画面

[機能]

- ・読み取りの進捗状況を表示
- ・読み取りの開始・終了時刻表示
- ・読み取り情報（累計）の表示
- ・ファイルに読み取りデータを出力
- ・機器のステータスを通知

[操作方法]

- ①読み取りの進捗状況、機器ステータスを表示

画面項目	説明
読取枚数	正常に読み込んだメディアの枚数
リジェクト	リジェクト（エラー）になった枚数と発生率
メディア	読み取り対象のメディア
読取開始時刻	読み取りを開始した時刻
読取終了時刻	読み取りを終了した時刻
リジェクト枚数	エラー別に発生枚数を表示 重複エラー及び桁数エラーチェックの設定が「なし」の場合は、該当のエラーは表示しません。
状態ランプ	読み取り中は緑ランプが点滅 エラー発生時は赤ランプが点灯 ホッパーが空になったときは水色ランプが点灯

## ②読み取りの開始

- 「読み取り開始ボタン」押下で読み取りを開始します。  
ただし、次の場合は機器の「スタートボタン」を押下して下さい。
- ・手差しリーダの機器
  - ・メディアを機器にセットしていなかった場合。

※ハンディスキャナの場合は、「読み取り開始ボタン」の押下は不要です。  
読取モニター画面が表示されたら読み取り可能となります。

## ③読み取りの終了

- 「読み取り終了ボタン」押下で、機器の読み取り状態を終了します。  
読み取り途中でボタン押下した場合は、ホッパーが空になると読み取りを終了します。

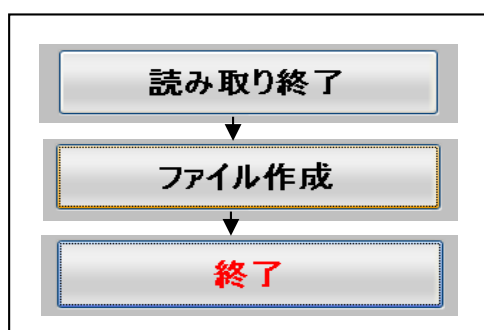


図4-4. 終了ボタンの機能

「読み取り終了ボタン」の機能  
ボタン名が状況に応じて変更します。

- 読み取り中 : 「読み取り終了」  
機器を終了状態にします。  
読み取り終了 : 「ファイル作成」  
データをファイルに出力します。  
作成後 : 「終了」  
押下でトップ画面へ遷移します。

## ④読取累計の表示

- 本日分と今月分の累計を表示します。読み取り終了時に最新の状態にします。
- ・読取枚数
  - ・読取時間 (15分刻みの表示)
  - ・リジェクト枚数
  - ・エラー件数

## ⑤読み取りデータの表示

- 読み取ったデータを確認する画面を表示します。  
画面の操作方法は、(4)読取データ画面の操作方法を参照して下さい。  
※読み取り中は表示できません。

## ⑥機器情報の表示

- 接続しているリーダのステータス情報を確認する画面を表示します。  
画面の操作方法は、(5)機器情報画面の操作方法を参照して下さい。  
※読み取り中は表示できません。

## ⑦ステータス通知

- 本ツールの稼働状況をランプで通知します。
- ・メンテナンス 環境設定で指定した「メンテナンス期間」に対し、前回メンテナンス日からの稼働日を加算して経過状態を通知します。
    - 1ヶ月以上前 : ランプが消灯
    - 1ヶ月前 : ランプがオレンジ色で点灯
    - 期間超過 : ランプが赤色で点灯



#### (4) 読取データ画面の操作方法

[画面イメージ]

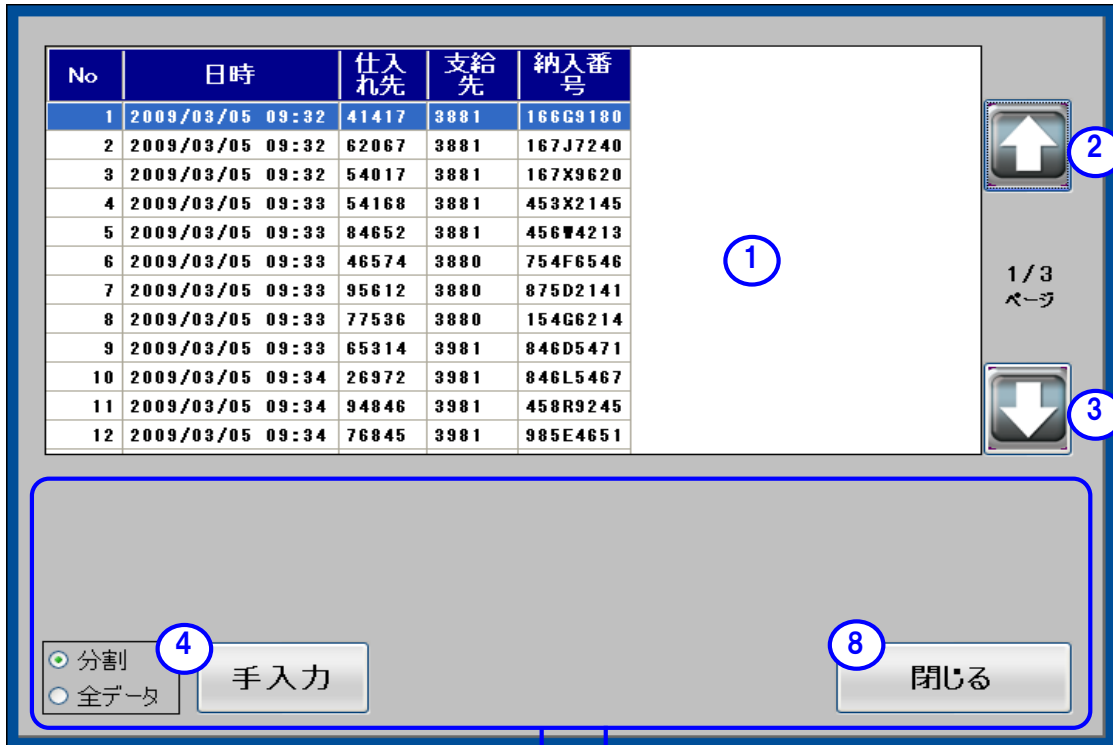


図4-5. 読取データ画面

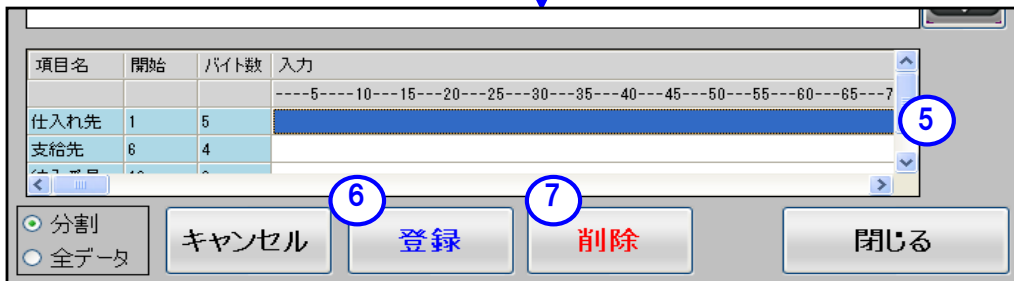


図4-6-1. 読取データ画面（「分割」選択で手入力ボタン押下）

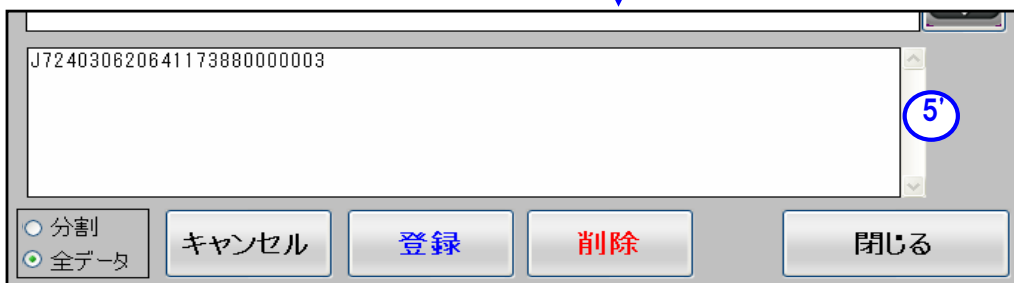


図4-6-2. 読取データ画面（「全データ」選択で手入力ボタン押下）

[機能]

- ・読み取りデータの一覧表示
- ・データの手入力
- ・データの削除

[操作方法]

①読み取りデータの一覧

読み取り済みのデータ、手入力したデータを一覧に表示します。

②前ページの表示

読み取りデータの一覧を前ページへ切り替えます。

③次ページの表示

読み取りデータの一覧を次ページへ切り替えます。

④手入力エリアの表示

(分割 選択時)

分割項目毎の入力を行います。

各項目の内容を入力エリア(図4-6-1.)に入力して下さい。

(全データ 選択時)

シンボルの全データの入力を行います。(図4-6-2.)

実績情報項目が存在する場合、「登録ボタン」押下で当該項目に自動で値をセットします。

連番	連番を採番
任意	設定文字列
日時	登録ボタン押下時刻

「キャンセルボタン」押下で、手入力編集を中止します。  
ただし、登録済みのデータは取り消しできません。

⑤データ入力エリア

分割/全データの選択により入力エリアの入力欄が変わります。

分割の場合は、分割出力で設定した項目毎に入力して下さい。全データではシンボルの内容を固定長文字列として入力して下さい。

⑥手入力データの登録

ボタン押下で、⑤に入力したデータを一覧の最終行に追加します。

重複チェック、桁数チェックありの場合は、各チェックを行いエラーがあればデータは追加されません。

※ただし、項目の分割出力が「する」の場合はチェックを行いません。

手入力時にエンターキーで次項目の入力エリアにカーソルが移動します。

最後の項目でエンターキー入力、又はデータの末尾が[CR]で登録を行います。

⑦データの削除

読み取りデータの一覧で選択している行を削除します。

⑧閉じる

本画面を閉じます。

## (5) 機器情報画面の操作方法

[画面イメージ]



図4-7. 機器情報画面

[機能]

- 機器のステータスを表示

[トータルカウンター]	本ツールで読み取った総メディア枚数
[ジャムエラー]	紙詰まり等の用紙送りエラーの総件数
[ダブルフィードエラー]	用紙の2枚送りエラーの総件数
[通信エラー]	機器の接続できなかった総件数
[読取エラー]	シンボルの読み取りが出来なかった総件数
[電源投入時間]	機器（本ツール）の総稼動時間
[読取時間]	読み取りに要した総時間
[メンテナンス]	前回メンテナンス作業を行った日付
[連番]	メディア単位の連番

[操作方法]

### ①メンテナンス日付の選択

機器のメンテナンスを実施した日付を「選択ボタン」を押下し、カレンダー(図4-8.)で日付を選択します。

### ②連番の設定

ボタン	説明
+	連番の値を1加算します。
-	連番の値を1減算します。
リセット	連番の値が0に戻ります。



図4-8. カレンダー

### ③閉じる

本画面を閉じます。

## (6) エラー時の操作方法

本ツールに接続している機器で印刷中に異常が発生した場合はエラー画面を表示します。エラー画面のメッセージにより機器のエラー原因を解除して下さい。エラーの解除後に機器の「スタートボタン」を押して下さい、読み取りデータを受信すると本画面を閉じます。

[画面イメージ]



図4-9. エラー画面

### ◆エラー種類

分類	コード	メッセージ内容/原因
通信	201-0001	「機器との通信初期化に失敗しました、機器をリセットして下さい。」 機器との接続に失敗、機器の初期化ができない
	201-0003	「機器との通信ができません、機器/ケーブルを確認して下さい。」 機器との接続に失敗
走行	402-0001	「紙詰まりです、用紙を排出して下さい。」 機器でメディアの詰まりが発生した
	402-0002	「ダブルフィード（2枚送り）です、用紙を排出して下さい。」 給紙でメディアが2枚送られた
	402-0003	「用紙が排出できません。」 機器でメディアが排出できない

## (7) 履歴一覧画面の操作方法

[画面イメージ]

日付	時間	メディア名称	読取件数
2009/02/09	17:58:56	かんばん	4
2009/02/09	16:41:28	かんばん	3
2009/02/09	15:39:42	かんばん	4
2009/02/05	16:32:38	チケット	4
2009/02/05	15:48:34	チケット	12
2009/02/05	15:45:19	かんばん	8
2009/02/05	14:26:33	チケット	2
2009/02/05	14:25:14	かんばん	2
2009/02/05	14:23:30	チケット	2
2009/02/05	14:21:34	かんばん	2
2009/02/05	14:18:39	かんばん	2
2009/02/05	14:15:32	チケット	2

1/5 ページ

2009/02/10 9:38:37  
Account Process Refine AP-REFINE

図4-10. 履歴一覧画面

[機能]

- ・読み取り情報の一覧表示
- ・詳細画面表示

[操作方法]

- ①読み取り情報の表示  
過去2ヶ月分の読み取り履歴を一覧に表示します。
- ②前ページの表示  
読み取りデータの一覧を前ページへ切り替えます。
- ③次ページの表示  
読み取りデータの一覧を次ページへ切り替えます。
- ④詳細を表示  
選択した読み取り情報の詳細を表示します。
- ⑤閉じる  
本画面を閉じ、トップ画面へ戻ります。

**集中実績収集ツール  
(一括入力版)  
操作説明書**

---

2014年4月1日

発行

株式会社エイピーリファイン

〒472-0056

愛知県知立市宝2丁目6-16 宝BOX